

## 平成 28 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻（兼任）・准教授
氏名 Name	佐野方郁
専門分野 Academic Field	日本近現代史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①明治・大正時代の覚王山日暹寺に関する研究 ②京都の史学史に関する研究 ③倉富勇三郎日記研究 ④近現代日本の国際関係に関する研究
<p>①今年度も、科学研究費補助金の交付を受けて、明治・大正時代の覚王山日暹寺に関する研究を継続し、各種文献の収集に努めたほか、『新愛知』の1921年1月から1926年12月までの期間と『名古屋新聞』の1919年12月から1924年12月までの期間の全紙面の閲覧と必要箇所の複写を行った。</p> <p>②今年度は、同志社大学人文科学研究所嘱託研究員として、第10研究会「歴史学の成り立ちをめぐる基礎的研究—現場と公共性—」（代表は小林丈広同志社大学教授）に参加した。また、来年度出版予定の林屋辰三郎『角倉素庵』（吉川弘文館、2017年）の解説として、「『角倉素庵』を読む」を執筆した。</p> <p>③昨年度までで、永井和京都橘大学特任教授が平成25年度から採択されていた科学研究費補助金の助成は終わってしまったものの、今年度も引き続き、枢密院議長を務めた倉富勇三郎の日記の翻刻・校正作業を行った。現在『倉富勇三郎日記』第4巻（国書刊行会）の刊行に向けて、編集作業を続けている最中である。</p> <p>④今年度は、近現代日本の国際関係に関する研究を全面的に進めることはできなかったものの、①との関連で近代日本とタイとの関係について若干の資料収集を行った。</p>	